

令和 8 年 度 第 1 回 常 議 員 会 別 添 資 料

日時 令和 8 年 4 月 15 日(水) 午後 1 時 30 分

場所 黒石商工会議所 会頭室

黒石商工会議所

令和 8 年度

黒石市に対する要望事項への回答

黒石市

令和8年度黒石市に対する要望事項一覧

【 黒石商工会議所 ⇒ 黒石市 】

最重点要望事項		担 当 課
1	黒石市制度融資保証料の増額について（継続・一部変更）	商工課

重点要望事項		担 当 課
◆商工業振興		
1	黒石市の経済対策について（継続）	企画課 商工課
2	中小企業者等が行う賃上げに対する支援について（新規）	商工課
3	マイナンバーカードの利便性をより高める自治体サービスについて（継続・一部変更）	市民環境課
◆都市環境		
4	街なかの環境整備について（新規）	市民環境課 商工課 都市建築課 文化スポーツ課
5	大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について（継続）	土木課 都市建築課
6	市民の利便性向上に資するワンストップ行政の実現について（新規）	総務課
7	イベント期間中の公共交通機関の充実について（新規）	商工課 観光課
◆観光振興		
8	虹の湖公園の改修について（新規）	観光課
9	食の情報発信拠点等の整備について（新規）	商工課 観光課
10	地域資源を活かした黒石温泉郷への誘客促進について（新規）	観光課

様式 1

最重点要望事項 1 黒石市制度融資保証料の増額について（継続・一部変更）

担当課・機関名 商工課

要望事項の内容

黒石市制度融資は当該保証料を一定額、市が負担し中小企業者の資金繰りや経費負担の軽減に寄与しております。

市が保証料を全額補助する小口資金特別保証制度の保証料給付は、例年年度後半には保証料給付が受けられない中小企業者が出るなどニーズの高い制度であるため、制度自体の融資承諾枠が予算に達していない場合でも、保証料の給付については例年比較的早く予算に達しており、保証料補給枠がないことで融資の申込を躊躇する事業所が多く見られます。

また、黒石市が連携している青森県融資制度の「事業活動応援資金（事業活動枠）」については、保証料の補助に際し、市より70%が補給されるほかは事業者負担となっており、小口資金特別保証制度に比べて利用しづらい制度となっております。

つきましては、「小口資金特別保証制度」における保証料補給枠の増額に加え「事業活動応援資金（事業活動枠）」において設備資金を資金使途とする場合、事業者の人手不足対策や生産性向上を支援する観点から、保証料を100%補給とする制度設計を要望します。

要望事項に対する回答

令和7年12月末現在の信用保証料補給実績は、16,748千円の予算に対し、黒石市小口資金特別保証制度3,701千円、県融資制度の連携分として「事業活動応援資金特別保証制度」については、2,494千円、「青森新時代」への架け橋資金特別保証制度については464千円となっており、消化率は39.7%となっております。

令和6年度実績及び令和7年度の保証料補給枠の消化状況をみると、黒石市小口資金特別保証制度の保証料補給枠については、要望に十分対応できているものと思料されます。

「事業活動応援資金（事業活動枠）」における設備資金を使途とする場合の100%補給とする制度設計については、令和8年度より黒石市小口資金特別保証制度の拡充を行うことから、その利用状況等を踏まえたうえで、関係機関と協議してまいります。

様式 1

要望事項	1 黒石市の経済対策について（継続）
------	--------------------

担当課・機関名	企画課・商工課
---------	---------

要望事項の内容

原油価格や物価高騰の影響により、市内事業者及び市民の負担増が続き終息の見通しが立っていません。この状況を踏まえ、令和7年度に行われた「物価高騰対策くろいし応援商品券発行事業」と同様の経済対策を継続して要望いたします。

本事業は市内事業者の安定した商品提供の継続や、顧客離れ防止及び市民の生活必需品の購入支援等、双方にメリットがあり、地域の消費活性化に寄与する事業であると考えます。

要望事項に対する回答

国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、「物価高騰対策くろいし応援商品券発行事業」を継続して実施しておりますので、多くの市民にご利用いただきたいと思います。

様式 1

要望事項	2 中小企業者等が行う賃上げに対する支援について（新規）
------	------------------------------

担当課・機関名	商工課
---------	-----

要望事項の内容

最低賃金の引き上げにより、防衛的賃上げをせざるを得ない中小企業者等が多く存在する中、令和7年11月、弘前市では弘前市賃上げ応援奨励金の受付を開始しました。この制度は事業者にとって効果的な制度であると考えます。

つきましては、賃上げに伴う厳しい経営環境を支援することにより、急激な物価高騰下における労働者の生活水準の維持向上及び人材の確保・定着を促進し、持続可能な雇用環境の構築につながるため、市内の中小企業者等の賃上げに対する支援を要望します。

要望事項に対する回答

現在、国で中小企業における最低賃金の引き上げを軸とした業務改善、人材育成、設備投資等への支援制度を設けておりますので、現段階で市内の中小企業等の賃上げに対する市独自の支援は考えておりません。

様式 1

要望事項 3 マイナンバーカードの利便性をより高める自治体サービスについて
(継続・一部変更)

担当課・機関名 市民環境課

要望事項の内容

現在、マイナンバーカードは、マイナポイント事業等によって普及促進が図られ、徐々に交付数が増加しており、市民は様々なサービスを受けられます。黒石市ではコンビニエンスストアで住民票や印鑑証明を取得するサービスが開始され、自宅付近のコンビニエンスストアでサービスを受けられる、自治体の営業時間外でもサービスを受けられるようになりました。

しかし、健康保険証としての利用（「マイナ保険証」）や運転免許証との一体化（「マイナ免許証」）などマイナンバーカードの多機能化が進む中で、高齢者をはじめとする市民が制度や利用方法、各種手続の仕方を十分に理解できず、利用促進が進まない可能性があります。

つきましては、マイナ保険証・マイナ免許証の機能を含めたマイナンバーカードの円滑な普及とさらなる利用促進を図るため、黒石市における相談・支援体制の強化、ならびに地域での説明会や個別サポートの拡充を要望します。

要望事項に対する回答

マイナンバーカードは平成28年1月より交付が開始され、成人の場合、有効期限は発行から10回目の誕生日までと定められています。

交付開始当初にマイナンバーカードを取得した方々が更新時期を迎えていることから、昨年度より申請及び交付件数が増加しております。本市では、現在も窓口にて、マイナンバーカードの顔写真撮影及び申請の補助を行っているほか、任意のグループからの依頼に基づき、市職員が指定された場所に直接伺い申請を受け付ける「出張申請受付」も実施しておりますので、そちらもご利用いただきたいと思います。

なお、マイナンバーカードの取得状況は、令和8年1月4日時点の申請数が32,287件、交付数が29,482件となっております。

様式 1

要望事項 4 街なかの環境整備について（新規）

担当課・機関名 市民環境課・商工課
都市建築課・文化スポーツ課

要望事項の内容

観光客で集うこみせ通りには、雪害による建物が未補修の状態で現存し、損傷箇所の被害拡大が懸念されるとともに景観上支障をきたしています。また、多くの人が利用する公衆トイレや歩道の街路灯が他市に比べて暗いとの声が聞かれています。

つきましては、こみせ通りの建物の雪害箇所の被害拡大防止のため、暫定的な措置を講じていただくよう要望します。併せて、公共施設等の照明光度の向上、防犯カメラの設置状況の周知および増設を検討し、観光客や市民が安全に散策できるような街なかの環境整備について要望します。

要望事項に対する回答

こみせ通りの雪害対応については、被害拡大防止のため、昨年中には所有者に対して応急処置や「歴史的景観保存事業補助金」を活用した修理などが可能なことを周知しており、現時点で雪害被害の報告があった全ての所有者が応急処置や修理等の対応を行っています。

公園付設の公衆トイレ照明については、安心してトイレが利用できる十分な照度を確保しておりますが、今一度現況を確認し、照明の改修等の必要性を検討してまいりたいと考えます。

本市の防犯カメラについては、現在8基設置し、安全確保に努めております。

設置場所の周知につきましては、犯罪抑止効果が期待できる一方で、死角を狙った犯罪を誘発するおそれもあり、防犯機能の低下が懸念されることから、周知の在り方については慎重に判断したいと思います。

また、増設につきましては、設置費用や維持管理費用の確保が難しく、現状では地区防犯協会からの寄付により整備している状況です。加えて、点検等に必要なマンパワーも課題であることから、今後の整備方針については、財源や運用体制を踏まえつつ、適切な対応を検討してまいります。

様式 1

要望事項 5 大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について（継続）

担当課・機関名 土木課・都市建築課

要望事項の内容

大鰐浪岡線は、大鰐町を起点とし、平川市・黒石市を経由して青森市と結ぶ重要路線です。近年、沿道の商業集積や通過交通の流入などによる交通量増加に伴い、慢性的に交通渋滞となっています。

この交通渋滞を解消するため、更なる拡幅工事と本路線東側バイパス路線を含む黒石環状線（都市計画3・4・7 巾16m 延長7,170m）の整備促進を図ることを引き続き要望します。

要望事項に対する回答

主要地方道大鰐浪岡線の交通渋滞緩和対策として、山形町等交差点への右折レーン設置や、寿町交差点から国道102号との交差点区間で信号機の調整による対策が行われております。

さらなる拡幅工事につきましては、用地取得に伴い、既存の住宅や商店にも大きな影響を与えることが想定されることから、現時点において予定はありません。

市は、都市計画道路3・4・7黒石環状線について、平成25年度から令和6年度にかけて柵ノ木三丁目の県道弘前田舎館黒石線から北側角田方面への906メートル区間の事業を実施し、令和7年4月1日に供用開始となりました。

現事業区間の終点である柵ノ木「りんご研究所」交差点付近から南側の国道102号「なごみホール黒石」交差点までの区間約1,100メートルの計画道路については、現在開発が進んでいるロジスティクス戦略の事業地にも直結し、物流に最適かつ効果的な道路であるとともに、大型車の円滑な通行及び交通渋滞の緩和にも大きな役割を果たすことが期待できるものと考えております。

この区間の整備につきましては、浅瀬石川を跨ぐ長大橋をはじめ、膨大な事業費が必要となり、技術面及び財政面においても、市が実施するには困難な事業であることから、県事業として整備していただくよう要望しているところです。

様式 1

要望事項 6 市民の利便性向上に資するワンストップ行政の実現について（新規）

担当課・機関名 総務課

要望事項の内容

黒石市における行政体制につきましては、境松庁舎や黒石市役所、わのまちセンターなどの複数の建物に窓口が分散している現状です。そのため、一つの手続きを行う際であっても、複数の窓口を行き来せざるを得ず、時間的・身体的負担が少なくありません。特に高齢者や小さなお子様を連れた方、また仕事の合間に手続きを行う市民にとっては、大きな不便を感じる要因となっております。

市民から見れば「同じ市役所の業務」であるにもかかわらず、建物や担当部署が分かれているために、利便性が十分でないと感じられる場面が少なくありません。

オンラインや電子申請の更なる推進で、窓口に出向く必要を減らすとともに、サポート体制を設けることで高齢者やデジタル機器に不慣れな市民にも安心して利用できる環境を整えていただきたいです。

こうした状況を改善し、市民サービスの向上と行政運営の効率化を実現するために、窓口を一本化したワンストップ行政について要望します。

要望事項に対する回答

市では、令和6年10月にオープンした黒石市役所わのまちセンターに窓口業務を集約するとともに、マイナンバーカード等を利用した「書かない窓口」を導入しました。1階の総合案内にはコンシェルジュを配置し、庁舎の案内だけでなく「書かない窓口」の支援などにも対応しているところです。

小、中学校の入学関係の手続きや市営住宅の入居申込手続きなど、一部の業務については、わのまちセンター以外の庁舎で申請手続き等が必要となりますが、水道の開閉栓手続きについてはLINEや電話での手続きを導入するなど、窓口改革を進めているところです。

今後も、市民の皆様の御意見を取り入れながら、さらに便利で使いやすい窓口の検討を進めるとともに、住民と職員の双方の負担が軽減されるよう、オンラインや電子申請の拡充に努めてまいります。

要望事項	7 イベント期間中の公共交通機関の充実について（新規）
------	-----------------------------

担当課・機関名	商工課・観光課
---------	---------

要望事項の内容

黒石ねぶたまつりや黒石よされ、こみせまつり等、黒石市で開催されるイベントは一定の集客力を有しているものの、その経済効果がイベント会場周辺に限定されている現状があります。現在、市内の公共交通機関が限られているため、自家用車を持たない観光客や高齢者にとって、複数の観光地を巡ることが困難な状況となっています。また、イベント期間中は駐車場不足や交通渋滞の問題も発生しており、来訪者の利便性向上と交通環境改善が喫緊の課題となっています。

イベント会場と市内観光地を結ぶ臨時バスの運行をすることで、イベント来場者が市内各所を訪れる機会が創出され、滞在時間の延長、飲食店や土産物店をはじめとする地域事業者の売上増加等による市内事業者への経済効果の拡大が期待できます。また、駐車場不足の緩和や交通渋滞の軽減にも寄与し、点在する観光資源を効果的に活用することで、黒石市全体の観光振興と地域活性化につながるものと考えます。具体的には、黒石よされ、こみせまつり等の主要イベント開催期間中に、黒石駅、中町こみせ通り、津軽こけし館、津軽伝承工芸館、温湯温泉など主要観光地を巡回するルートで、30分から1時間間隔での定期運行を希望します。料金体系については1日乗り放題パスの導入など観光客が利用しやすい設定とすることで、市内周遊の促進が図られます。さらに、バス車内やバス停において観光情報の提供を行うことで、来訪者の満足度向上にもつながると考えます。

つきましては、持続可能な観光地づくりの観点からも公共交通機関の充実は重要な施策であるため、黒石市の魅力を最大限に発信する機会であるイベント期間中の臨時バス運行を要望します。

要望事項に対する回答

市は現状を踏まえ、市内金融機関と連携協定を締結し、市内中心市街地で開催されるイベント時に市内金融機関駐車場を一般開放する取組を令和8年度から実施いたします。

今後更に知恵を出して駐車場の確保に努め、市を訪れる観光客等の利便性向上を図ってまいりますので、貴所におかれましては、本取組をはじめとする持続可能な観光振興対策に、ご協力いただきたいと思います。

様式 1

要望事項 8 虹の湖公園の改修について（新規）

担当課・機関名 観光課

要望事項の内容

当市の観光窓口として長年親しまれてきた道の駅「虹の湖公園」につきましては、かつては観光客や地域住民で賑わいを見せておりましたが、近年は来訪者数の減少や施設の老朽化が進み、往時の活気を失いつつあります。
特に、トイレ・休憩スペースの老朽化、地場産品販売の廃止などが顕著であり、観光客の立ち寄りが減少し、地域経済に悪影響を及ぼしております。
このままでは地域の魅力発信拠点としての機能が失われるおそれがあるため、道の駅「虹の湖公園」の施設改修を要望します。

要望事項に対する回答

虹の湖公園が設置された当時と比べ、旅行形態が団体客から個人客へシフトし、十和田湖方面への車の流れも時代とともに変化しております。地場産品の販売、飲食店の経営はその過程で淘汰されました。一方、家族でのピクニックや幼稚園・保育園の遠足は安定した利用があります。また、野外ステージを活用した音楽イベントやダンスイベントを企画していただき、キッチンカー出店やグッズ販売で誘客に一定の成果を上げております。
虹の湖公園の施設改修に対し、市では一定規模の財源を投じておりますが、近年は老朽化した施設の撤去や、雪害に対する施設の修繕など、市民目線では目新しさに欠ける用途であったことも確かです。
今後は時代のニーズに沿った施設改修が重要であると考えております。ご指摘のトイレ・休憩スペースの老朽化対策は優先度が高いものと認識しており、国の交付金などの活用も踏まえ検討してまいりたいと考えております。

様式 1

要望事項	9 食の情報発信拠点等の整備について（新規）
------	------------------------

担当課・機関名	商工課・観光課
---------	---------

要望事項の内容

この数年当市には、新規出店者の増加や休日の「こみせ通り」の観光客の増加が見られます。今後も、様々な業種・業態の店舗が増加することで市内外からの来街者の増加が期待できると思います。

黒石と言えば、米、りんご、メロン、桃、ぶどうなどの農産物、加工品等が豊富にありますが、当市には、これらが一堂に揃い、買い物や飲食ができる拠点、黒石の魅力や歴史を知ることができる拠点が現在不足しています。

つきましては、市外から訪れる観光客の方々にも立ち寄りやすく、交通の便が良い場所に、多数の車両が収容可能で大型バスの受け入れが可能な「食の情報発信拠点」の整備を要望します。

要望事項に対する回答

当市の観光施設として、松の湯交流館、津軽こみせ駅、津軽伝承工芸館、津軽こけし館があり、それぞれの施設で、食やお土産の販売、また市の魅力や歴史を発信しております。

ここ数年の旅行傾向は団体旅行から個人旅行となっており、既存の施設を有効活用した周遊促進を図っております。

「食の情報発信拠点」の整備については、市内事業者への影響が懸念されるため、関係機関等との十分な協議を踏まえた上で検討する必要があると考えます。

様式 1

要望事項	10 地域資源を活かした黒石温泉郷への誘客促進について（新規）
------	---------------------------------

担当課・機関名	観光課
---------	-----

要望事項の内容

黒石市は、古くからりんごや米といった一次産業が盛んであり、これらを中心とした農業体験をはじめ、こみせ通り、黒石よされ、黒石ねぶたなど、歴史と文化を感じられる豊富な観光資源を有しています。これらの地域資源は体験的に理解を深めることができる教育旅行の目的地としてなり得る場所であります。

毎年、黒石市の温泉郷にある宿泊事業者数名で、青森県主催の「教育旅行セミナー・商談会」に参加し、教育旅行の誘致活動に取り組んでおります。具体的には、一泊二日で黒石市の魅力を体験できる独自のモデルコースを作成し、関係者の皆様に向けてプレゼンテーションを行うものです。その際、黒石市のご担当者様にもご同席いただき、地域の概要やこれまでの取り組みについて補足説明をいただけますと、より説得力のあるご案内が可能となり、黒石温泉郷への誘客促進につながると考えます。

このような取り組みにより、先生方の負担軽減を図りながら黒石市の魅力を効果的に発信し、教育旅行の誘致において他地域に対する大きなアドバンテージを得ることができると考えます。また、近年、全国的な交通費高騰の影響により、移動距離を抑えた教育旅行の需要が高まっております。この傾向を踏まえ、北海道からの誘客や、新幹線を利用してアクセス可能な地域への積極的なアプローチを重点的に行うことが重要と考えます。

つきましては、小・中学校を主対象とした国内教育旅行の誘致活動の積極的な展開への支援を要望いたします。

要望事項に対する回答

教育旅行は観光事業者にとって安定した収入となるため、誘致活動には市でも積極的に協力すべきものと考えます。

今後は貴会議所が参加している県主催商談会への支援や青森県とも情報共有に努め、連絡を密にし、誘致活動に取り組んでまいります。

報告事項② 令和7年度補助・委託事業実施内容について

令和7年度 中小企業者等LPガス・特別高圧電気価格高騰対策支援金 給付業務報告書

① 第3弾 中小企業者等LPガス等価格高騰支援金給付業務

・委託団体名 青森県

・業務の内容

青森県がエネルギー価格の高騰による厳しい経営環境が続いている事業者の負担軽減を目的として「LPガス」や「特別高圧電気」を使用する県内中小企業等に対し、使用量に応じた支援金の給付を実施。商工会議所等が申請窓口になり事業の周知、審査、支援金振込を行った。

・給付額

LPガス：令和6年8月～10月分

1 m³当たり 31 円 ※給付金額に上限なし

令和7年1月～3月分

1 m³当たり 17.2 円 ※給付金額に上限なし

特別高圧電気：令和6年8月～10月分

1 kWh 当たり 1.25 円 ※上限額 25 万円/月

令和7年1月～3月分

1 kWh 当たり 0.76 円 ※上限額 15 万円/月

・申請受付期間

令和7年5月12日（月）～7月4日（金）

・給付件数及び給付額

LPガス支援金 61 件 916,417 円

※特別高圧電気支援金の給付は0件

・受託料 1,447,635 円

② 第4弾 中小企業者等LPガス等価格高騰支援金給付業務

・委託団体名 青森県

・業務の内容

青森県がエネルギー価格の高騰による厳しい経営環境が続いている事業者の負担軽減を目的として「LPガス」や「特別高圧電気」を使用する県内中小企業等に対し、使用量に応じた支援金の給付を実施。商工会議所等が申請窓口になり事業の周知、審査、支援金振込を行った。

・給付額

LPガス：令和7年7月、9月分

1 m³当たり 17 円 ※給付金額に上限なし

令和7年8月

1 m³当たり 21 円 ※給付金額に上限なし

特別高圧電気：令和7年7月、9月分

1 kWh 当たり 21 円 ※上限額 14 万円/月

令和7年8月

1 kWh 当たり 0.9 円 ※上限額 17 万円/月

- ・申請受付期間

令和7年11月10日（月）～令和8年1月16日（金）

- ・給付件数及び給付額

L P ガス支援金54件 343, 105 円

※特別高圧電気支援金の給付は0件

- ・受託料 695, 104 円

③（実施予定）第5弾 中小企業者等L P ガス等価格高騰支援金給付業務

- ・委託団体名 青森県

- ・業務の内容

青森県がエネルギー価格の高騰による厳しい経営環境が続いている事業者の負担軽減を目的として「L P ガス」や「特別高圧電気」を使用する県内中小企業等に対し、使用量に応じた支援金の給付を実施。商工会議所等が申請窓口になり事業の周知、審査、支援金振込を行う。

- ・給付額

L P ガス：令和8年1, 2月分

1 m³当たり 38 円 ※給付金額に上限なし

令和8年3月分

1 m³当たり 13 円 ※給付金額に上限なし

特別高圧電気：令和8年1, 2月分

1 kWh 当たり 1.6 円 ※上限額 32 万円/月

令和8年3月分

1 kWh 当たり 0.6 円 ※上限額 11 万円/月

- ・申請受付期間

令和8年5月11日（月）～7月10日（金）

制度改正等の課題解決環境整備事業報告書

①講習会名	経営力再構築伴走型支援研修
講師名（団体名）	山田貴弘中小企業診断士事務所 代表 山田 貴弘 氏
開催年月日	令和7年 5月29日（木） 13:30～16:30
開催場所	黒石商工会議所「会頭室」
受講料	無料
受講者数	6名
講習内容	研修内容 ・伴走型経営支援の内容 ・支援の際、どのように使ったらいいのか？ ・小規模事業者持続化補助金の概要 ・小規模事業者持続化補助金の支援方法
効果	本研修では、「伴走型経営支援」に対する理解をさらに深め、気づきを与えて企業の本質的課題・強み・持ち味を引き出す支援に取り組む方法について学び、職員の相談対応スキルの向上を図った。 「伴走型経営支援」に対する不安や課題の軽減が図られ、業務改善および知識の習得が期待される。

②講習会名	SNS活用実践セミナー
講師名（団体名）	Shikama.net 代表 志鎌 真奈美 氏
開催年月日	令和7年6月27日（金） 14:00～16:00
開催場所	黒石商工会議所「会頭室」
受講料	無料
受講者数	20名
講習内容	販路開拓・収益拡大・集客に繋げる ・SNS全般について知ろう ・運用前に考えておきたいこと ・Insutaguramの基本について ・Insutaguramの機能を使ってみよう〈実習〉 ・継続するために必要なこと ・質問コーナー
効果	本セミナーでは、デジタル化の進展に伴い、SNSによる情報発信を強化する事業所が増加している現状を踏まえ、数ある選択肢の中から選ばれるための方策について解説を行った。特に、SNSの中でもInstagramの機能に着目し、「導入方法が不明確である」「継続的な運用が困難である」「投稿効果が実感できない」といった課題を抱える事業所に対し、事前準備の重要性や成果を上げているアカウントの共通点等について、体系的に説明がなされた。

	当日は、スキル向上を目的とした市内の小売業及びサービス業の事業者を中心に参加があり、受講後のアンケートにおいては、「苦手意識の軽減につながった」「実践的な知識を得ることができた」等の評価が得られた。また、SNS運用における成長過程として、フォロワーからの反応やコメントの増加が、収益拡大及び集客力向上に寄与することが示された。そのため、安定的な運用を実現するためには定期的な投稿が不可欠であり、事業者自身の想いやサービス内容を継続的に発信することの重要性について理解が深められた。 本セミナーの実施により、SNS活用に関する不安や課題の解消を図るとともに、販路拡大、収益向上及び集客強化に資する知識の習得が促進されたものと考えられる。
--	---

③講習会名	デジタル伴走支援者育成研修	
講師名（団体名）	株式会社レジステック 代表取締役 坂本裕樹 氏	
開催年月日	①令和7年 7月 9日（水） 10:00～12:00 ②令和7年 7月23日（水） 10:00～12:00 ③令和7年 9月19日（金） 10:00～12:00 ④令和7年10月 8日（水） 10:00～12:00 ⑤令和7年10月22日（水） 10:00～12:00 ⑥令和7年11月19日（水） 10:00～12:00	
開催場所	黒石商工会議所「会頭室」	
受講料	無料	
受講者数	延べ 29名	
講習内容	1	・デジタル伴走支援とは何か？ ・管内中小企業のデジタル化の現状と課題 ・業務改善のアイデア立案 （5名）
	2	・通知が届きやすく、開封率・反応率が高い「公式LINEアカウント」開設に向けた準備 ・効果的な「リッチメニュー」の表示内容の検討（ホーム画面上） ・ユーザーが迷わず行動に移れる導線の作成 ・継続的な情報発信に向けた体制づくり （4名）
	3	・「公式LINEアカウント」開設に向けた最終確認 ・ホームページへの導線設計・運用 ・年間計画・情報発信体制の整備 ・運用方針と今後の施策 （5名）
	4	・業務改善のアイデア立案 ・業務効率化のため「LINE WORKS」導入の検討 ・インターネットを安全に活用するためのセキュリティポリシーの策定の検討 ・「公式LINEアカウント」の進捗状況の確認 ・所内整備などの体制づくり （5名）

	5	・「LINE WORKS」導入準備 ・「LINE WORKS」グループチャットやスケジュール利用などの試用 ・システム利用規定策定の検討 ・「公式LINEアカウント」の進捗状況の確認 (5名)
	6	・「LINE WORKS」試験運用状況 ・「LINE WORKS」運用に伴う社内ルール設計 ・「公式LINEアカウント」の進捗状況の確認 ・効率的に業務を進められる体制づくりの検討 (5名)
効 果	本セミナーは、デジタル技術に不慣れな事業所に対する支援スキルの習得と、寄り添い型の「伴走支援」マインドの醸成を図るとともに、現場で活用可能な課題解決手法の理解促進を目的として実施した。また、経営者の生産性向上および販路拡大等の実現に資するため、デジタル分野の専門家から知見を得ることで、伴走型支援やIT人材育成に関する理解の深化を図った。 本セミナーの受講を踏まえ、業務改善に向けた検討を行い、当所におけるDX推進による利便性向上に着手した。具体的には、情報伝達の即時性および開封率の向上が見込まれる「公式LINEアカウント」の開設に向けた準備を進めるとともに、継続的な情報発信体制の整備を行った。加えて、業務効率化を目的として「LINE WORKS」の導入検討を実施し、各種機能の試用を通じて運用方針および社内ルールの策定を行った。 以上の取組により、デジタル化に対する不安や課題の軽減が図られ、業務改善および伴走型支援に資する知識の習得が促進されたものと認められる。	

④講習会名	年収の壁徹底対策セミナー
講師名（団体名）	株式会社応瀬会計事務所 蛭名哲治税理士事務所 所長 蛭名 哲治 氏
開催年月日	令和7年9月17日（水） 14:00～16:00
開催場所	黒石商工会議所「会頭室」
受講料	無料
受講者数	11名
講習内容	・こんなにある年収の壁 103万円・106万円・130万円・150万円・201万円 ・「税制度」と「社会保険制度」の壁の違い ・具体的な事例で考える ・会社としてベストなパート社員の働かせ方とは？ ・実務上起こりうる課題と解決策 ・質問コーナー
効 果	本セミナーにおいては、「年収の壁」問題が労働者のみならず、人材確保及び定着に課題を抱える事業所に対しても深刻な影響を及ぼしている現状を踏まえ、その対応について検討を行った。税制度と社会保険制度が複雑に関連する中、最低賃金の引上げも相まって、本問題の解決は一層困難な状況にある。

	このような背景のもと、経営者が抱える「給与計算及び年末調整実務への影響」「従業員への説明対応」「2026年に向けた準備事項及び留意点」といった諸課題に対し、税制改正の要点について平易に解説するとともに、実務に即した対応方法について説明を行った。 当日は、市内の建設業及び自動車整備業をはじめとする多様な業種から参加があり、受講後アンケートにおいては、「節税対策に活用したい」「実務に直結する知識を習得できた」等の評価が寄せられた。また、各種「年収の壁」の相違点、社会保険加入の判断基準、いわゆる年収130万円の壁を超過する場合のメリット及びデメリットに加え、基礎控除及び給与所得控除の見直し、特定親族特別控除の創設、扶養親族の所得要件の改正等、税制改正に係る重要な留意点について具体的に提示した。さらに、黒石税務署よりキャッシュレス納付の利便性について周知を行った。 本セミナーの実施により、年収の壁に関する不安及び課題の解消が図られるとともに、税務・財務に関する知識の習得が促進されたものと認められる。
--	---

令和7年度 伴走型小規模事業者支援推進事業費補助金に係る補助事業 実績報告書

1. 事業の背景

当事業は日本商工会議所の伴走型小規模事業者支援推進事業費補助金を活用し、経営発達支援事業*の一部を実施するもの。

※経営発達支援事業

小規模事業者の持続的発展を支援するため商工会議所等が支援計画を策定し経済産業大臣が認定する仕組み。小規模事業者の経営分析、事業計画作成・実行支援、販路開拓につながる展示会や商談会の参加や取り組みなどを総合的に支援する事業。

2. 事業内容

経営発達支援型事業

事業計画策定支援

●導入システム＝B I Z ミル（導入期間：令和7年7月～令和8年2月）

B I Z ミルを活用し、売上推移や収益性指標、損益分岐点、自己資本比率、キャッシュフロー等を可視化することで、事業者の経営課題を定量的に把握した。分析結果を基に、原価構造の見直しや不採算部門の整理、収益分野への経営資源集中等の改善提案を行うとともに、資金計画や投資判断の見直しを支援し、実現可能性の高い事業計画策定につなげた。また、経営指導員等が事業者と分析内容を共有しながら支援を行うことで、課題認識と改善策の理解が深まり、自走による計画策定・実行を促進した。これらの取組により、支援ノウハウの蓄積と伴走型支援能力の向上にも寄与した。

事業継続力強化支援型事業

事業継続力強化計画策定支援

●全国商工会議所ビジネス総合保険制度等の取扱保険会社である東京海上日動火災保険㈱と協働し、管内小規模事業者の事業継続力強化策定の個別伴走支援を実施

（実施期間：令和7年10月～12月）

事業継続力強化支援型事業においては、自然災害や感染症等のリスクに対応するため、事業継続力強化計画の策定支援を実施した。3事業所が計画を策定（個別相談延べ12回）計画策定後も経営指導員が継続的にフォローアップを行い、内容の見直しや実効性の向上を支援した。これにより、平時からの備えの強化と、発災時における迅速な事業再開に向けた体制整備が進み、小規模事業者の事業継続力向上につながった。

3. 補助金額

607,200円

経営・技術強化支援事業（旧エキスパートバンク事業）事業報告書

1. 事業目的

専門的知識を有する者を事業所に派遣して経営課題に対する具体的・実践的指導を行うことにより、経営・技術力を強化することを目的とする。当事業は経営コンサルタントの少ない地域の事業者にとって、個別に専門家の助言・ヒントを得る契機ともなり、経営改善や経営計画の策定といった支援につなげる。

長期化する物価高騰や制度改正等への対応で、厳しい経営環境に置かれている小規模事業者も多いことから一層の支援に努める。

経営・技術強化支援事業（旧エキスパートバンク）	
【指導条件】	エキスパートを年1回まで無料で派遣（1回3時間） ※経費の一部をご負担いただくことで指導を継続することが可能
【対象】	県内商工会議所地域の小規模事業者（常時使用する従業員が、製造業その他は20人以下、商業・サービス業は5人以下）

2. 成果指標

指標名	目標値	最終実績	特記事項
利用数	5件	5件	R7. 4. 15 実施（支援内容：HACCP） R7. 4. 25 実施（支援内容：法人化相談） R7. 7. 24 実施（支援内容：事業再構築補助金） R7. 9. 5 実施（支援内容：ものづくり補助金） R7. 10. 8 実施（支援内容：経営事項審査）

3. 収支決算

(1) 収入

科目	摘要	金額（円）	算定基礎
県小規模補助金	経営・技術強化支援事業	130,000	
利用者自己負担	2回目以降の利用により1/3自己負担	0	
自己負担	黒石商工会議所	21,800	
合計		151,800	

(2) 支出

科目	摘要	金額（円）	算定基礎
謝金・旅費	専門家謝金	132,000	27,500円×4回、22,000円×1回
	専門家旅費	19,800	4,400円×4回、2,200円×1回
合計		151,800	

令和7年度 「黒石市創業相談ルーム」 管理運営業務実施結果報告書

1 インキュベーション・マネジャーによる相談対応状況

(1) 定期相談及び随時相談対応状況

	構想企 画	事業計 画	開業手 続	資金 調達	商品 開発	法人 化等	販路 開拓	知財	その他	合計
黒石ルーム 利用	21	33	8	16	0	0	0	0	7	85

2 創業者の輩出状況

	建設業	飲食業	理・美容業	製造業	サービス業	運輸業	合計
黒石市	0	1	1	1	1	0	4

小規模事業者持続化補助金・ものづくり補助金・事業再構築補助金 事業報告書

1. 小規模事業者持続化補助金

小規模事業者が、商工会議所・商工会の助言を受けて経営計画を作成し、その計画に沿って取り組む「販路開拓」に対し費用の一部を補助するもの。

補助金額：＜通常枠＞50万円

補助率：＜通常枠＞3分の2

(1) 令和7年度中の申請数と採択数について

＜通常枠＞

申請数：5件 採択数：4件

＜創業枠＞

申請数：6件 採択数：4件

＜賃上げ枠＞

申請数：0件 採択数：0件

＜インボイス枠＞

申請数：0件 採択数：0件

【申請数合計11件 採択数合計8件】

採択金額：814万円

(2) 採択事業所の取り組み事例

機械設置、店舗改装

(3) 令和8年度以降の公募スケジュールについて

第19回は4月末締切

2. ものづくり補助金（ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金）

中小企業等が新たに設備投資を行い、当該設備を活用し自社や地域にない新たなサービス（革新的サービス）の開発や生産プロセス等の省力化を行い、生産性を向上させる事業に対し費用の一部を補助するもの。

補助金額：＜通常類型＞100万円～2,500万円 ※従業員規模や賃上額による

補助率：＜通常類型＞2分の1 ※小規模事業者は3分の2

※グローバル枠等あり

(1) 令和7年度中の申請数と採択数について

申請数合計：0件 採択数合計：0件

採択金額：0円

(2) 令和8年度以降の公募スケジュールについて

23次：令和8年2月6日公募受付開始・令和8年5月8日締切

電子申請のみ（GビズIDプライムアカウント使用）

3. 中小企業新事業進出促進補助金

既存事業と異なる新市場・高付加価値事業への進出に挑戦する中小企業を対象に設備投資等を支援するもの。

(建物費・内装工事・広告費・外注費・機械装置・システム構築費等)

補助金額： 2, 500万円～7, 000万円 ※従業員数により変動

補助率： 2分の1 ※賃上げの場合は3分の2

(1) 令和7年度中の申請数と採択数について

申請数合計：0件 採択数合計：0件

採択金額：0万円

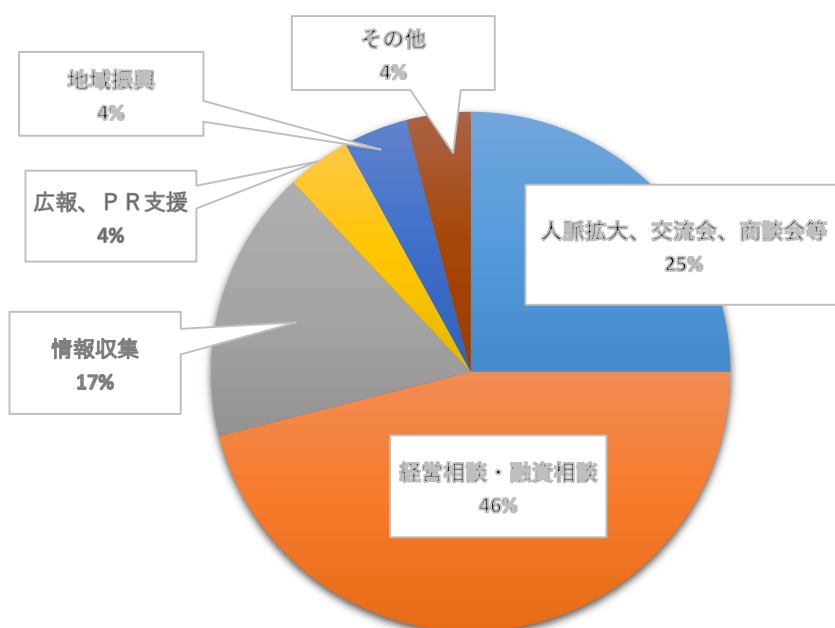
(2) 令和8年度以降の公募スケジュールについて

第4回：令和8年3月27日公募受付開始・令和8年6月19日締切

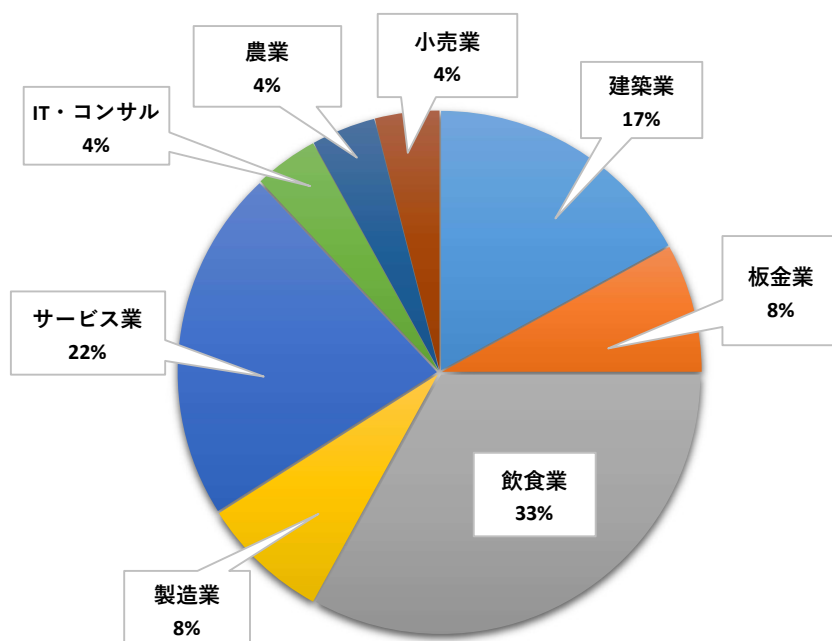
報告事項③ 会員入会・退会状況について

令和7年度黒石商工会議所入会状況

入会理由	事業所数
人脈拡大、交流会、商談会等	6
経営相談・融資相談	11
情報収集	4
広報、P R 支援	1
地域振興	1
地域社会貢献	0
共済制度	0
その他	1
合計	24

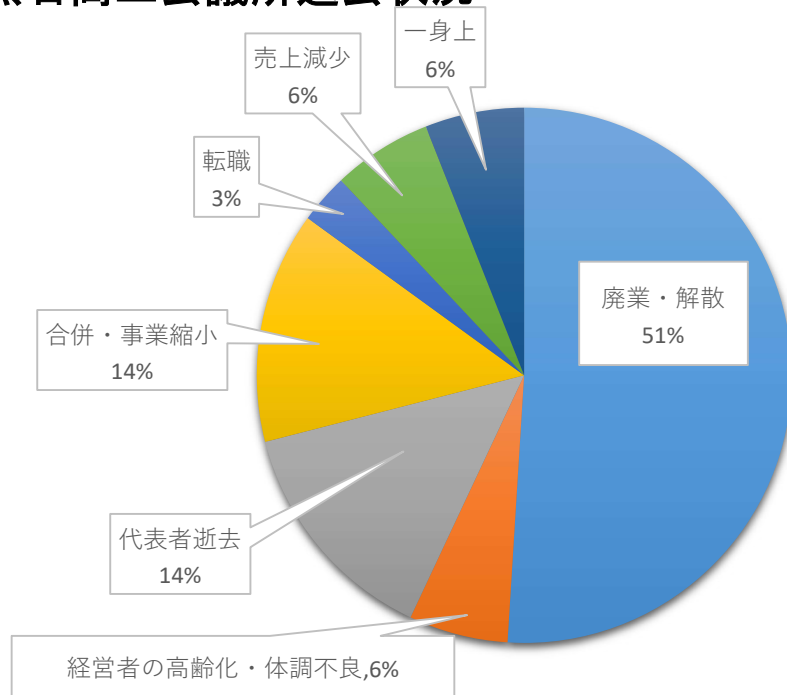


業種別	事業所数
建築業	4
板金業	2
飲食業	8
製造業	2
サービス業	5
IT・コンサル	1
農業	1
小売業	1
合計	24

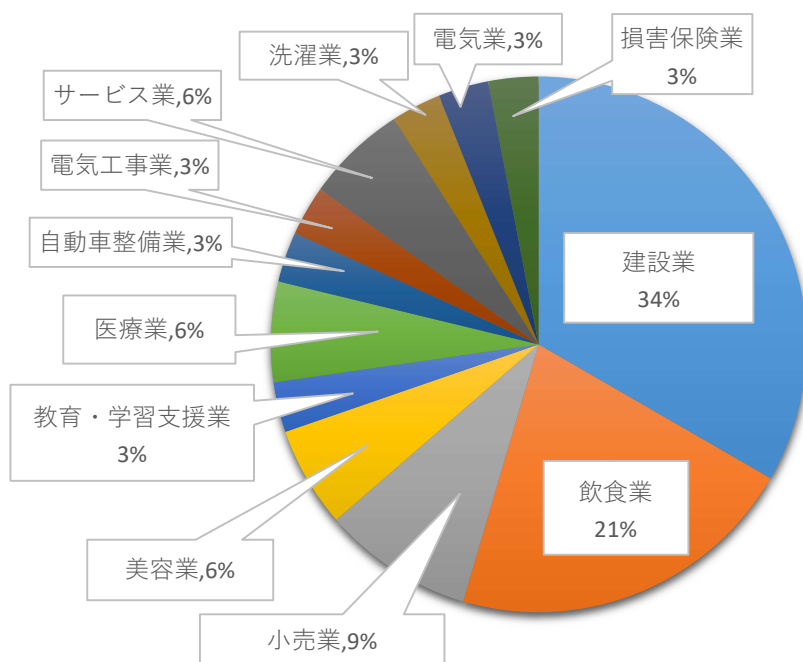


令和7年度黒石商工会議所退会状況

退会理由	事業所数
廃業・解散	18
経営者の高齢化・体調不良	2
代表者逝去	5
合併・事業縮小	5
転職	1
売上減少	2
一身上	2
合計	35



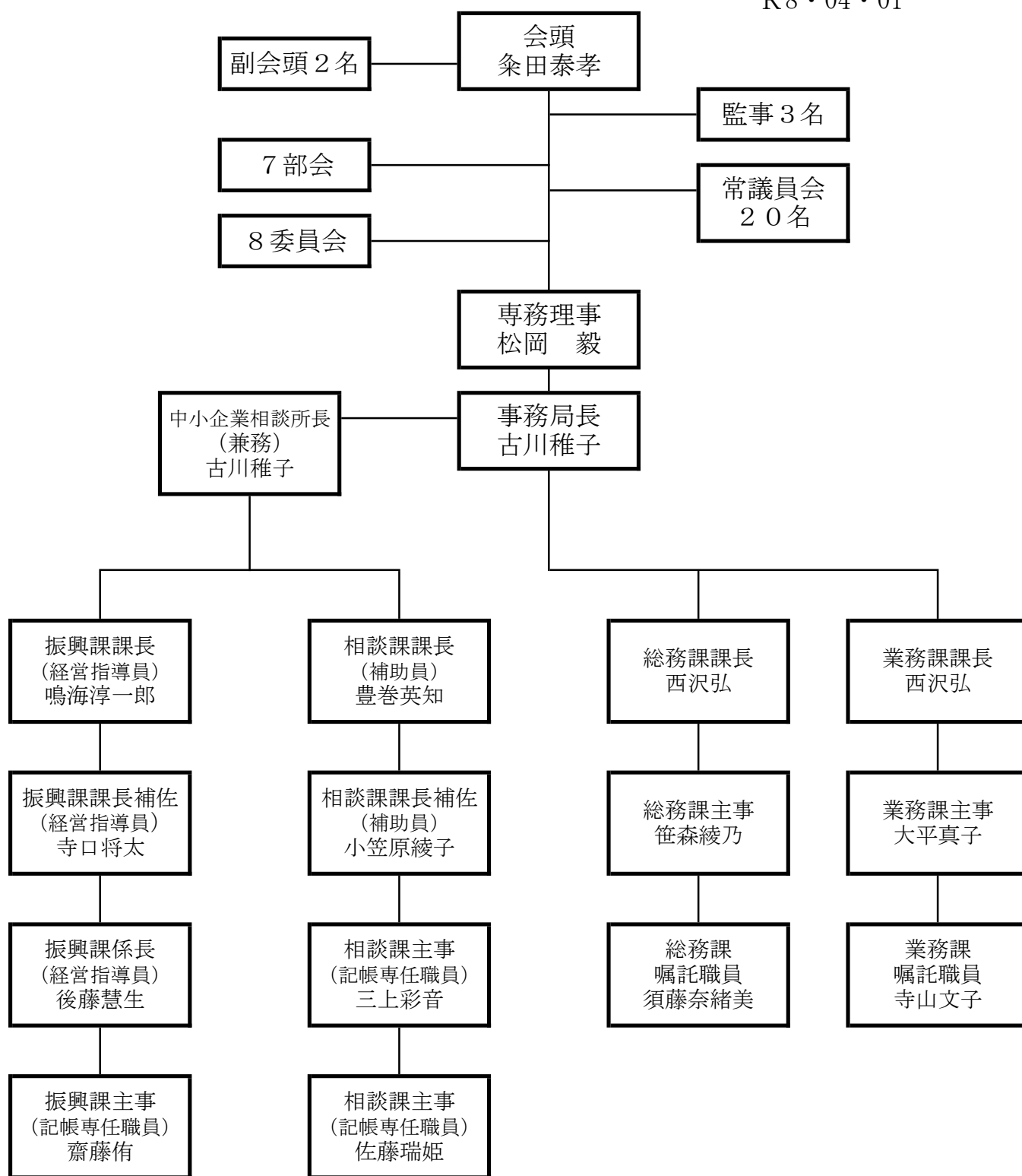
業種別	事業所数
建設業	11
飲食業	7
小売業	3
美容業	2
教育・学習支援業	1
医療業	2
自動車整備業	1
電気工事業	1
サービス業	2
洗濯業	1
電気業	1
損害保険業	1
合計	33



報告事項④ 事務局組織・業務分担一覧について

黒石商工会議所組織図

R8・04・01



嘱託職員 2名

臨時職員 0名

令和8年度「総務課及び業務課」主たる業務の分担表

令和8年4月1日

番号	業 務 内 容	主 担 者	副 担 者	副 担 者	備 考
1	業務全般の統括	古川 稚子			
2	儀礼、交際、渉外関連	古川 稚子			
3	役員、議員の選任	古川 稚子			
4	定款その他諸規程	西沢 弘	古川 稚子		
5	収支予算、決算	古川 稚子			
6	人事及び給与に関する事項	古川 稚子			
7	公印管理	西沢 弘	松岡 毅		
8	財産の管理運営に関する事項	西沢 弘			
9	現金、預金及び有価証券出納管理	西沢 弘			
10	証明、鑑定、紹介、斡旋に関する事項	西沢 弘			
11	大規模小売店舗立地法に関する事項	古川 稚子			
12	議員総会、常議員会関連	西沢 弘	笹森 綾乃		
13	会計関連(一般、収益事業、特定退職金、議員選挙等)	笹森 綾乃	大平 真子		
14	事業報告関連	大平 真子	西沢 弘		
15	会員管理	笹森 綾乃	西沢 弘		
16	県連・商工調査事業関連	大平 真子			
17	商工会議所ビジネス総合保険制度関連	大平 真子			
18	物品の調達及び保管	笹森 綾乃	西沢 弘		
19	特定商工業者関連	笹森 綾乃	西沢 弘		
20	集団扱自動車保険制度	大平 真子			
21	会員拡大推進(会員紹介キャンペーン)	大平 真子	総務課・業務課		
22	広報の発行	三上 彩音	寺口 将太		
23	商工会議所共済制度(生命共済、特定退職金共済等)	大平 真子	三上 彩音		
24	商工会議所コンプライアンス責任者	西沢 弘			
25	個人情報保護管理者	豊巻 英知			
26	個人情報取扱責任者	西沢 弘	鳴海 淳一郎		
27	特定個人情報事務取扱者	笹森 綾乃 寺山 文子 大平 真子 齋藤 侑			
28	社会保険、労働保険関連	大平 真子	笹森 綾乃	寺山 文子	総務課・業務課
29	青森県火災共済関連	大平 真子	寺山 文子		
30	サーバーの管理	西沢 弘	豊巻 英知		
31	ホームページ作成・更新関係	三上 彩音	後藤 慧生		
32	原産地証明関連	寺口 将太	佐藤 瑞姫		サイナー登録者 寺口、佐藤、古川
33	文書収受・発送、整理保管	笹森 綾乃	須藤奈緒美	西沢 弘	
34	簿記検定	大平 真子	笹森 綾乃		
35	珠算検定	笹森 綾乃	大平 真子		
36	容器包装リサイクル関係	須藤 奈緒美	寺山 文子		
37	こみせまつり実行委員会事務局	西沢 弘	総務課・業務課		
38	所内デジタル化、DX推進	西沢 弘	小笠原綾子	後藤慧生	三上彩音 笹森綾乃

令和8年度中小企業相談所業務一覧

令和8年4月1日

番号	項 目	主 担	副 担	摘 要1	摘 要2
1	補助金申請・実績報告関係	鳴海 淳一郎	寺口 将太		
2	経営発達支援計画事業(おみせ相談所事業)	寺口 将太	後藤 慧生	全職員	
3	事業継続力強化支援計画事業	鳴海 淳一郎	全職員		
4	小規模事業者持続化補助金等の補助金周知、支援者の統括	寺口 将太	相談所全員		
5	創業支援(黒石市創業相談ルーム)	佐藤 瑞姫	相談課		
6	事業承継支援	豊巻 英知	相談課	振興課	
7	講習会開催費関係、情報化推進事業	三上 彩音	小笠原 綾子	相談課	
8	日商 事業環境変化対応型支援事業	鳴海 淳一郎	振興課		
9	日商 制度改正等の課題解決環境整備事業	小笠原 綾子	相談課		
10	政府系・県保証融資・市融資制度関係	豊巻 英知	相談課		
11	マル経資金審査会(司会)、一日公庫	小笠原 綾子	豊巻 英知	補助員	
12	金融懇談会	小笠原 綾子	経営指導員	経費:一般会計	
13	施策普及費関係	齋藤 侑	振興課		
14	むらおこし事業等地域活性化事業	鳴海 淳一郎	全職員		
15	専門家派遣事業、よろず支援拠点相談会サポート	齋藤 侑	寺口 将太		
16	税務支援・税理士会関係	三上 彩音	相談所全員		
17	相談所会計	齋藤 侑	振興課		
18	倒産防止共済制度	佐藤 瑞姫	相談課		
19	小規模企業共済制度	佐藤 瑞姫	相談課		
20	商工会議所青年部・シニアクラブ	後藤 慧生	齋藤 侑	振興課	
21	商工会議所女性会	三上 彩音	相談課		
22	日本商工会議所報告・アンケート関係	小笠原 綾子	相談所全員		
23	黒石地区税務関係団体協議会	寺口 将太	振興課	受託事務	
24	黒石青色申告会・連合会	小笠原 綾子	相談課	受託事務	
25	輝く黒石りんご市の会	齋藤 侑	後藤 慧生	受託事務	
26	カルテの整理・管理	補助員			
27	青森県物価高騰等影響調査	齋藤 侑	鳴海 淳一郎		
28	所内デジタル化、DX推進	西沢 弘	小笠原綾子 後藤慧生 三上彩音 笹森綾乃		

令和8年度 部会・委員会・受託団体担当一覧表

令和8年4月1日

I. 部会業務担当一覧

番 号	部 会 名	主担氏名	副担氏名	備 考
1	食品商業	三上 彩音	寺口 将太	
2	生活文化商業	佐藤 瑞姫	豊巻 英知	
3	工業	齋藤 侑	鳴海 淳一郎	
4	建設	寺口 将太	鳴海 淳一郎	
5	観光・交通・サービス	大平 真子	笹森 綾乃	
6	理財・情報産業	後藤 慧生	小笠原 綾子	
7	厚生・福祉	笹森 綾乃	小笠原 綾子	

II. 委員会業務担当一覧

番 号	委 員 会 名	主担氏名	副担氏名	備 考
1	総務	豊巻 英知	西沢 弘	
2	産経	寺口 将太	佐藤 瑞姫	
3	労働	西沢 弘	大平 真子	
4	税務	三上 彩音	齋藤 侑	
5	金融	後藤 慧生	小笠原 綾子	
6	観光	大平 真子	笹森 綾乃	
7	広報特別	三上 彩音	寺口 将太	掲載記事各担当職員へ依頼

III. 事務受託団体担当一覧

番 号	事 務 受 託 団 体 名	主担氏名	副担氏名	備 考
1	黒石ロータリークラブ	笹森 綾乃	総務課	
2	黒石青色申告会・連合会	小笠原 綾子	相談課	
3	十日会	西沢 弘	笹森 綾乃	松岡 毅
4	黒石地区雇用対策協議会	寺山 文子	業務課	
5	黒石地区エネルギー問題懇談会	大平 真子	西沢 弘	
6	黒石地酒をたしなむ会	須藤 奈緒美	総務課	
7	黒石物産協会	齋藤 侑	寺口 将太	
8	南黒焼器具整備協会	寺口 将太	須藤 奈緒美	
9	好日会(職員OB会)	豊巻 英知	相談課	
10	黒石市自衛隊協力会	須藤 奈緒美	総務課	
11	黒石地区税務関係団体協議会	寺口 将太	振興課	
12	(一社)全国労働保険事務組合連合会 青森支部黒石地区協議会	大平 真子	寺山 文子	
13	黒石珠算連盟	笹森 綾乃	大平 真子	
14	商工会議所青年部・同シニア倶楽部	後藤 慧生	齋藤 侑	振興課
15	商工会議所女性会	三上 彩音	相談課	
16	黒石つゆやきそば伝紹会	豊巻 英知	相談課	
17	輝く黒石りんご市の会	齋藤 侑	後藤 慧生	
18	こみせ通り商店街振興組合	西沢 弘	総務課・業務課	
19	黒石小売酒販組合	須藤 奈緒美	総務課	
20	黒石市中心市街地活性化協議会	鳴海 淳一郎	振興課	

黒石商工会議所 青年部	3月14日(土) 13:00	弘前 商工会議所	渡辺浩司・山谷晃 〈計2名〉	【青森県商工会議所青年部連合会 第5回役員会】 案件(1)会員交流事業 in 八戸事業 報告について 案件(2)SNS事業報告について 案件(3)集え八戸に！～新たな経済 価値の創出を～事業報告に ついて 案件(4)第二回臨時総会について ※すべて満場一致で可決
	3月24日(火) 18:30	富士見館	渡辺浩司・高橋晃司・ 棟方清崇・浅利有里・ 加藤さおり・松村定世・ 相馬大・長井雄太・ 対馬孝男・高橋聡・ 村上慈人・齊藤工・ 村上照幸・伊藤武宣・ 高橋宥稀乃・徳田祐之・ 西谷孝雄・山田慎児・ 事務局 【シニア倶楽部出席者】 佐藤佳仁・大溝雅昭 〈計21名〉	【3月定例会】 卒業生：伊藤 武宣 瓜田 健太郎 工藤 秀幸 高橋 晃司 対馬 孝男 福士 長年輪 増川 博基 松井 元博 村上 拓世 内容：卒業証書授与式 所感：厳粛な卒業証書授与式を挙行で きました。約20名の会員とOB会員に よる懇親会が行われ、卒業生と思い出 話をゆっくり楽しむことができました。 卒業生の今後益々のご活躍を心か ら願い所感とさせていただきます。

黒石商工会議所 女性会	開催日時	開催場所	出席者	開催内容
	3月10日(火) 19:00	会頭室	端田裕花・渋川麗子・ 斎藤甲・工藤由美子・ 高木まり子・鳴海理香・ 高橋経子・石黒きよの・ 事務局 〈計9名〉	【令和7年度第9回役員会】 案件(1)令和8年度事業計画(案)並びに 収支予算書(案)の策定について ※事業計画(案)・収支予算書(案)に ついて協議。 案件(2)令和8年度監査会・役員会の開 催について ※日程について協議。 案件(3)令和8年度通常総会の開催につ いて ※通常総会の詳細について協議。 案件(4)県連大会のPRについて ※PR方法の詳細について協議。 案件(5)その他について ※特になし。
	3月13日(金) 13:00	会頭室	大溝千秋・端田裕花・ 李若冰・佐藤知香・ 高橋幸江・渋川麗子・ 鳴海理香・渡辺恵子・ 事務局 〈計10名〉	【黒石商工会議所女性会創立50周年実 行委員会 第3回打ち合わせ】 今回は主に記念誌制作、協賛金、講 演会講師についておおまかに意見を出 し合った。次回の役員会でも引き続き 検討することとした。

報告事項⑤ 各部会・委員会、青年部・女性会活動報告について

(令和8年3月1日～令和8年3月31日)

部会名	開催日時	開催場所	出席者	開催内容
食 品 商 業	開催なし			
生 活 文 化 商 業	開催なし			
工 業	開催なし			
建 設	開催なし			
観 光 ・ 交 通 ・ サ ー ビ ス	開催なし			
理 財 ・ 情 報 産 業	開催なし			
厚 生 ・ 福 祉	開催なし			

委員会名	開催日時	開催場所	出席者	開催内容
総 務	開催なし			
産 経	開催なし			
労 働	開催なし			
税 務	開催なし			
金 融	開催なし			
観 光	3月6日(金) 17:30	松の湯 交流館	受賞者等18名・事務局 〈計20名〉	【津軽くろいし みんなの雪だるま 「写真で審査・私の雪だるまコンテ スト2026」表彰式】 今年度の表彰式は受賞者等18名が 参加し受賞式を行った。松の湯交流 館には多くの市民が来場し、展示さ れている創意工夫を凝らした20点の 作品を観覧していた
広 報 特 別	開催なし			

	開催日時	開催場所	出席者	開催内容
黒石商工会議所 青年部	3月4日(水) 18:30	会頭室	渡辺浩司・高橋晃司・ 棟方清崇・松村定世・ 相馬大・高橋聡・ 長井雄太・長内康之・ 江利山圭佑・山谷晃・ 村上慎平・村上慈人・ 事務局 〈計13名〉	【令和7年度第12回役員会】 案件(1)第2回新入会員拡大事業につ いて(事業報告) 案件(2)第2回臨時総会・2月定例会 について(事業報告) 案件(3)規約の改定について 案件(4)3月定例会について 案件(5)令和8年度通常総会について 案件(6)創立35周年記念事業ロゴ マーク制作について ※すべて満場一致で可決

黒石商工会議所 青年部	3月14日(土) 13:00	弘前 商工会議所	渡辺浩司・山谷晃 〈計2名〉	【青森県商工会議所青年部連合会 第5回役員会】 案件(1) 会員交流事業 in 八戸事業 報告について 案件(2) SNS事業報告について 案件(3) 集え八戸に！～新たな経済 価値の創出を～事業報告に ついて 案件(4) 第二回臨時総会について ※すべて満場一致で可決
	3月24日(火) 18:30	富士見館	渡辺浩司・高橋晃司・ 棟方清崇・浅利有里・ 加藤さおり・松村定世・ 相馬大・長井雄太・ 対馬孝男・高橋聡・ 村上慈人・齊藤工・ 村上照幸・伊藤武宣・ 高橋宥稀乃・徳田祐之・ 西谷孝雄・山田慎児・ 事務局 【シニア倶楽部出席者】 佐藤佳仁・大溝雅昭 〈計21名〉	【3月定例会】 卒業生：伊藤 武宣 瓜田 健太郎 工藤 秀幸 高橋 晃司 対馬 孝男 福士 長年輪 増川 博基 松井 元博 村上 拓世 内容：卒業証書授与式 所感：厳粛な卒業証書授与式を挙げて きました。約20名の会員とOB会員に よる懇親会が行われ、卒業生と思い出 話をゆっくり楽しむことができました。 卒業生の今後益々のご活躍を心か ら願い所感とさせていただきます。

黒石商工会議所 女性会	開催日時	開催場所	出席者	開催内容
	3月10日(火) 19:00	会頭室	端田裕花・渋川麗子・ 斎藤甲・工藤由美子・ 高木まり子・鳴海理香・ 高橋経子・石黒きよの・ 事務局 〈計9名〉	【令和7年度第9回役員会】 案件(1) 令和8年度事業計画(案)並びに 収支予算書(案)の策定について ※事業計画(案)・収支予算書(案)に ついて協議。 案件(2) 令和8年度監査会・役員会の開 催について ※日程について協議。 案件(3) 令和8年度通常総会の開催につ いて ※通常総会の詳細について協議。 案件(4) 県連大会のPRについて ※PR方法の詳細について協議。 案件(5) その他について ※特になし。
	3月13日(金) 13:00	会頭室	大溝千秋・端田裕花・ 李若冰・佐藤知香・ 高橋幸江・渋川麗子・ 鳴海理香・渡辺恵子・ 事務局 〈計10名〉	【黒石商工会議所女性会創立50周年実 行委員会 第3回打ち合わせ】 今回は主に記念誌制作、協賛金、講 演会講師についておおまかに意見を出 し合った。次回の役員会でも引き続き 検討することとした。